

ココロ、トキメク、ヨツカイチ

広報

よっかいち

YOKKAICHI CITY PUBLICITY PAPERS

2025
11
November

四日市から世界へ



海外で使われるスパイラルコンベヤ
(焼成後の食パンを冷却する装置)

- 02 【特集】 世界で認められる四日市市の技術力と挑戦
- 08 健康診断を受けて、知ってほしい。
体からの小さなSOS
- 09 こどもの意見が尊重されるまちへ

- 10 きらり四日市人 薬剤師 青木一徳^{かずのり}さん
- 11 人権のひろば / 市長の全力取材！
- 12 そらんばへ行こう / 文化財さんば



世界で認められる 四日市市の 技術力と挑戦

本市の製造業は、ものづくりの伝統を受け継ぎつつ、常に新しい技術や製品開発に挑戦し続けています。地域の特性を生かし、優れた技術者たちが育んだこの地の産業は、高い品質と革新性で国内外から高い評価を得ています。
今回は、市内のものづくり企業の中でも、特に食品や食品に関する機械を製造し、世界に挑戦を続ける企業を紹介します。

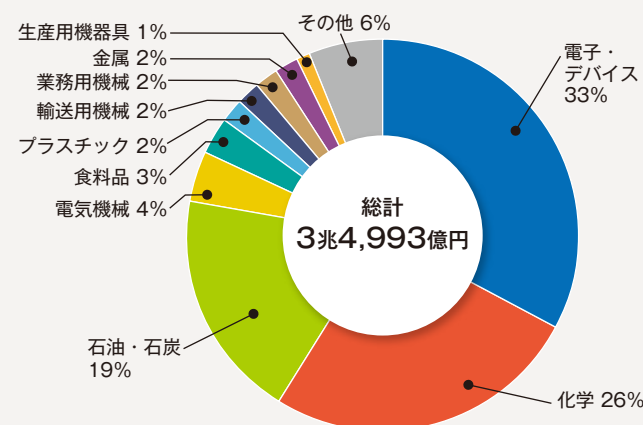
日本のものづくりを支える四日市市の産業発展

本市は古くから「四日^{いち}の市」に象徴される商業のまちとして、また、東海道の宿場町として栄えてきました。明治時代に入って四日市港が伊勢湾最初の開港場に指定され、世界に門戸が開かれると、製糸業や製油業、製網業などの近代工業が次々と立地しました。

昭和 30 年代には、臨海部に日本を代表する石油化学コンビナートが形成されました。その後、産業の多様化を図るなかで、内陸部に工業団地を造成し、加工組立型産業やハイテク産業、バイオ産業などの誘致が進められ、現在でも日本のものづくり産業を支える、全国有数の産業都市として発展しています。

数字で見る四日市市の工業

本市には石油・化学、半導体、自動車、食品など多様な工業が集積しており、製造品出荷額などは **3兆4,993億円**（2024年経済構造実態調査：2023年実績）で全国 **第12位**と、日本を代表する工業都市の一つとなっています。



順位	市区町村	人口	製造品出荷額等
1	豊田市	41万人	20兆 5,271億円
2	倉敷市	47万人	5兆 5,488億円
3	市原市	26万人	5兆 1,190億円
4	大阪市	277万人	4兆 5,596億円
5	堺市	81万人	4兆 4,977億円
6	川崎市	153万人	4兆 3,172億円
7	横浜市	375万人	4兆 2,223億円
8	大分市	47万人	3兆 9,705億円
9	神戸市	149万人	3兆 8,400億円
10	名古屋市	230万人	3兆 5,491億円
11	広島市	117万人	3兆 5,442億円
12	四日市市	30万人	3兆 4,993億円
13	岡崎市	38万人	3兆 1,926億円
14	太田市	22万人	3兆 1,471億円
15	姫路市	52万人	2兆 9,833億円

四日市市から世界へ

世界市場で存在感を示している本市の企業の成功事例や、新たな挑戦を続ける企業を紹介します。

伊藤工機株式会社

1951年に創業し、地域の産業を支える企業として成長を遂げてきました。当社が開発したIHを利用した大型調理機は、調理能力・機能・価格などが高く評価され、東南アジアでは、ケータリングや機内食の調理に活用されています。

23年前の革新的な開発の背景

四日市市のコンビナートを主な取引先としたメンテナンス会社として創業したため、食品製造の経験がない中、以前から取り引きのあった大手コンビニに求められ「手作り風のチャーハンを作る機械」に挑戦しました。

2年間の試行錯誤の末、IHによる高温加熱を用い、鍋を回転させ、専用の攪拌羽根で具材をあおる新機構を開発しました。従来の食品調理機械の概念にとらわれない革新により、具材が均一に加熱され、理想的な「パラパラ感」を実現しました。

社員の情熱と未来への挑戦

当社では、企画から納品まですべての工程に社員が関与し、心を込めてものづくりに取り組み、さまざまな国でおいしい食を提供しています。今後も新たな市場や業界への挑戦を続け、世界へ展開することを目指します。

会社概要

- 本社 三ツ谷町 14-20
- 創業 1951年
- 代表取締役社長 寺村輝行
- 他事業所 安曇野事業所
- 関連会社 シンガポール
- 従業員 26人



寺村代表取締役社長
(本社前)



IH調理機の開発担当者の
熊崎専務



海外のケータリング会社で
使用されるIH調理機



ラーメンチェーン店で
使用されるIH調理機

三鈴工機株式会社

1946年に三鈴鉄工所として創業し、来年で80周年を迎えます。コンベヤメーカーとしてスタートし、1960年代から食品加工機械の開発に注力してきました。

コンベヤシステムを中心とした総合エンジニアリング能力

特に製菓・製パン機械は、国内外で高く評価されています。1971年に米国の世界的製パン機械メーカー Baker Perkins社と技術提携し、業界に先駆けて国産化した機器が日本の大手製パン会社に導入されるなど、数々の挑戦を経て成長してきました。当社の強みは、装置の設計から稼働まで一貫してサポートできる総合エンジニアリング能力です。当社の製品を使う企業からは、メンテナンスの迅速さや安定した品質が評価されています。本号の表紙写真は焼成後のパンを冷却する装置で、パンが通過する距離は1kmにもなります。

四日市市のコンベヤが世界の食品産業をつなぐ

今後はアジア圏から欧米諸国への展開を進め、ニーズに応えるために技術革新を続けていきます。コンビニやスーパーで見かけるパンやお菓子の多くには、私たちの技術が使われています。ぜひ身近な製品に注目してみてください。

会社概要

- 本社 楠町北五味塚 530
- 創業 1946年
- 代表取締役社長 打田卓也
- 支店など 東京事業所、大阪支店
- 従業員 130人



ドラムレススパイラルコンベヤ
と岩元取締役 FFA 事業部長



伸縮・増設可能な
ユニバーサルコンベヤ



本社工場

株式会社スエヒロ EPM

地元四日市市の食用油メーカーの工務部が独立し、1953年に有限会社末広鉄工場として創業しました。国内で初めて植物油脂用大型搾油機を国産化し、搾油機で培った技術を基に開発したエクストルーダー（食品加工装置）の設計・製造を通じて、世界へ優れた技術を提供しています。搾油機の国内シェアは90%を超えています。

夢の多機能型食品加工機 エクストルーダー

当社の強みは、圧搾機におけるスクリュープレス方式を駆使した高い効率性と耐久性です。得意とする大型搾油機や搾油の技術を基に開発したエクストルーダーは、幅広い複合機能を持ち、スナック菓子やペットフードなど、私たちの生活に欠かせない商品を生み出しています。

世界の安全な食文化を支える

最近では、アジア市場への進出にも力を入れていて、タイ国家食品研究所へのエクストルーダー寄贈や現地スタッフへの指導を通じて、国際的な交流も深めています。ものづくりを通じて地域の食文化を育み、国内外の人に安心して食を楽しんでいただけるように努めています。

会社概要

- 本社 末広町2-4
- 創業 1953年
- 代表取締役社長 佐久間寿仁
- 支店 バンコク駐在員事務所
- 従業員 45人



佐久間代表取締役社長
(本社前)



開発担当余谷さんと
小型2軸エクストルーダー



実験用小型搾油機

九鬼産業株式会社

1886年の創業以来、130年以上にわたり「ごま一筋」を貫いて事業を展開してきました。

当社は長く海外向けの営業活動に注力しており、看板商品である純正ごま油は、世界各地のスーパーで販売され、現地の人の生活に溶け込んでいます。また、ミシュラン星付きレストランのシェフから料理の風味を際立たせる調味料として選ばれているなど、現在では多くの国で普段使いから特別な食事まで幅広いシーンで愛用されるようになりました。

伝統的な圧搾法と品質へのこだわり

最大の強みは、創業以来守り続けている伝統的な圧搾法です。この製法により、ごま本来の旨みが最大限に引き出され、多様な料理にマッチします。「品質第一」を徹底し、安全・安心な製品を提供し続けています。

未来への展望と持続的な成長

健康的な植物油としてのごま油のニーズが高まる中、現地の食文化に寄り添いながら新しい使い方を提案し、世界各地で市場のさらなる拡大を目指していきます。そして、四日市市から世界中の食卓に喜びと感動を届けられるよう、ものづくりに励んでいきます。

会社概要

- 本社事務所 中納屋町 8-18
- 創業 1886年
- 代表取締役社長 田中啓之
- 工場・営業所 8カ所
- 従業員 212人



田中代表取締役社長



焙煎チェック



ボトリングプラント（工場）で充填、ラベリング後、
厳重な検査を経て出荷



ミナミ産業株式会社

1951年に創業し、革新的な技術で豆腐を世界に広めています。特に、萬来鍋は「どこでも、誰でも、できたて豆腐が楽しめる」をコンセプトに開発され、国内外のホテルや飲食店で高い評価を得ています。

新技術で食品ロスを削減

丸大豆を20～30マイクロメートルに超微粉碎し、オカラが出ない豆乳・豆腐を製造しています。もともとは豆腐や油揚げを作る機械を扱っていましたが、大豆の粉碎に挑戦し、製造特許を取得しました。

また、ウルトラファインバブル（UFB）技術の開発にも注力しています。このナノレベルの気泡生成技術は、食品の酸化を防ぎ、鮮度や食感を向上させています。

これらの新技術により、食品ロス削減に貢献しています。

地域貢献と世界展開

「社会課題を技術で解決する姿勢」と「現場主義」により、微粉碎やUFBなどの独自の技術を生み出しました。常温で長期間の保存が可能な「ロングライフ豆乳」は30カ国以上に輸出され、多くの人に支持されています。地域の資源や技術を活用し、四日市市から新たな食文化を世界に発信していきます。

会社概要

- 本社 東新町 3-18
- 創業 1951年
- 代表取締役社長 南川勤
- 工場・研究所 4カ所
- グループ企業 2社
- 従業員 30人

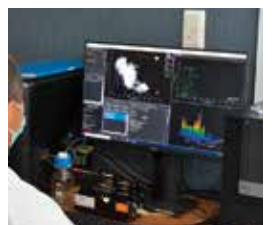
Minamisangyo co.,ltd.



南川代表取締役社長（左）と
海外営業担当加藤さん（右）



萬来鍋とロングライフ豆乳



UFBの発生状況を確認



UFBと水道水を比較し、サビが
抑制されていることを確認

株式会社おにぎりの桃太郎

1976年の創業以来、当社が大切にしているのは、「安心安全でおいしいものをお客様へ」というポリシーです。加えて、古い体質にとらわれない、女性を中心とした社風を目指し、現在も多くの女性スタッフと共に地元の味を提供し続けています。

四日市発のおにぎりを世界に知ってもらいたい

現在はシンガポールへの進出に取り組んでいます。まずは現地のマーケティング手法と、桃太郎のものづくりへの思いを融合させた新しいメニューやサービスを展開する計画です。

まだ現地では一般的ではない「おにぎり」と「うどん」をセットで楽しむスタイルを提案し、手軽においしい日本のおにぎりを味わえる環境を提供したいと考えています。

いつか世界の空で桃太郎のおにぎりを

世界中の機内食で自社のおにぎりが提供されることを目指して、これからも海外進出に積極的に取り組んでいきます。これらの挑戦は、地元で信頼される味を提供し続けたその理念と技術を広める絶好の機会と考えています。

会社概要

- 本社・工場 久保田1丁目6-54
- 創業 1976年
- 代表取締役会長 上田輝一
- 社長 上田耕平
- 直営店 16店舗
- 従業員 160人



上田代表取締役社長
「桃太郎うどん」と「味おにぎり」



出荷前のおにぎりラック



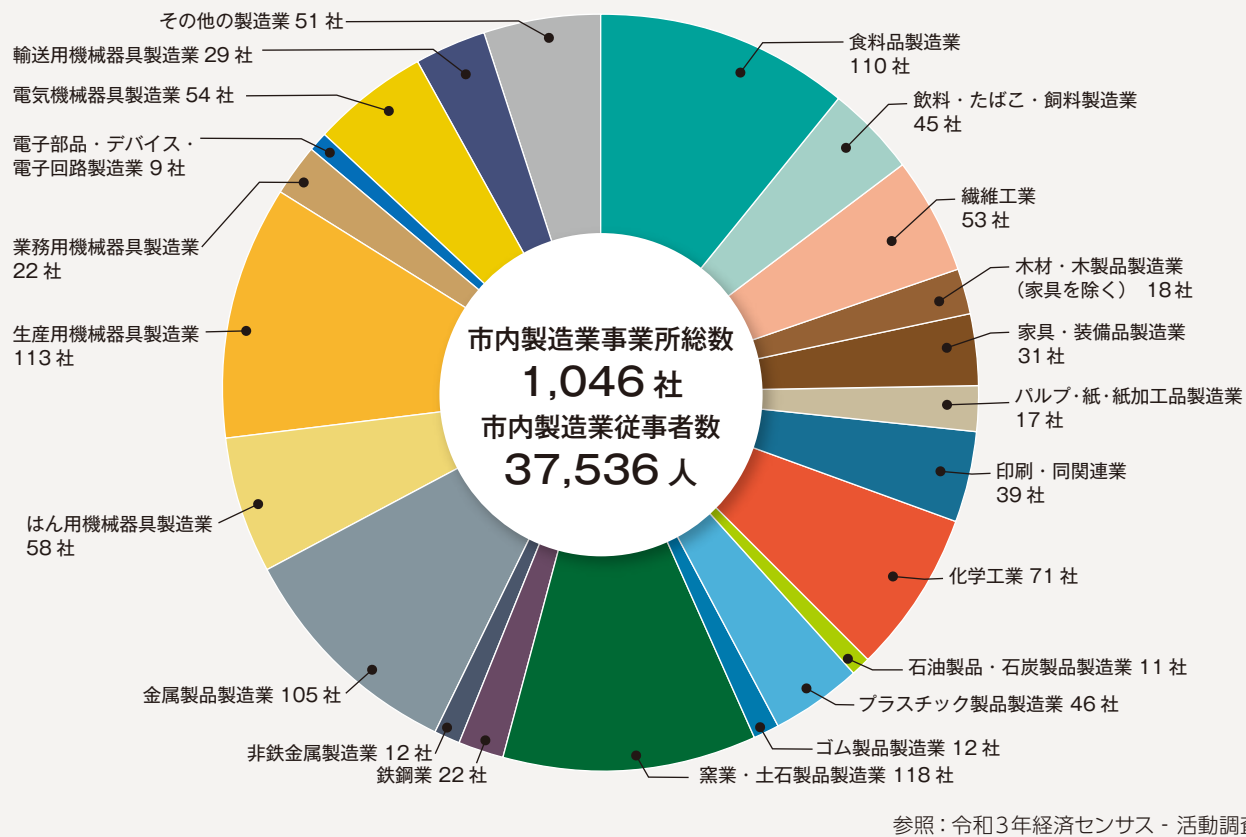
久保田本店



おにぎり個包装機

知られざる四日市市の力！世界を支える多彩なものづくり企業

本市には、さまざまな分野で卓越した製造技術を持つ企業が集結しており、地域の経済を支える力となっています。



さまざまな分野の企業が集まることで、それぞれの専門知識や経験を掛け合わせ、新しい技術やイノベーションが生まれやすいものづくり環境が本市にはあります。

世界へ羽ばたく企業を後押し！四日市市の企業支援

四日市市中小企業・小規模企業振興基本条例の制定

本市では、議員提案により、令和7年6月30日に「四日市市中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定しました。

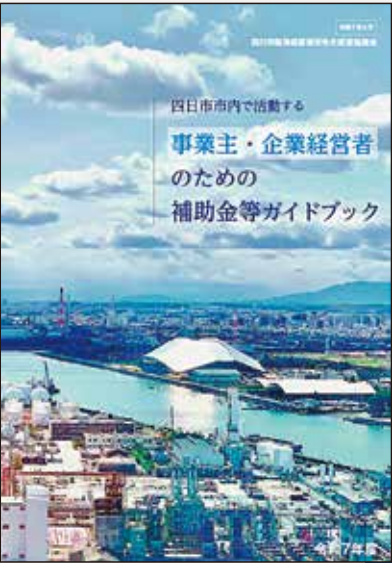
この条例は、中小企業などの振興に関して市の責務、振興施策の基本となる事項を定め、地域経済の持続的な発展および市民生活の向上に寄与することを目的としています。

優れた技術力を有する中小企業などは、地域の雇用や経済を支えている重要な存在です。昨今、世界経済の情勢変化への対応や、少子高齢化、デジタル化、脱炭素化など新たな変革への対応が求められています。本市では、中小企業などの振興を市政の重要課題として位置づけ、より一層の振興策を実施していきます。

主な補助制度

- **四日市市新規産業創出事業補助金**
中小製造業者が行う新商品・新技術開発にかかる経費を支援します
- **四日市市中小企業海外販路開拓支援事業補助金**
海外で開催される見本市や商談会などへ出展する市内の中小企業者を支援します
- **四日市市企業立地奨励金**
市内で工場や事業所、研究所などを新・増設する事業者に対して奨励金を交付します
- **四日市市 IT 企業等進出支援事業補助金**
市内で IT オフィスなどの事業所を新設、増設する企業などに対して、予算の範囲内でその経費の一部を補助します

補助金ガイドブック
ほかにもさまざまな支援制度があります。
詳しくは、右記二次元コードを参照ください



四日市市企業 OB 人材センター

企業 OB 人材センターは、企業 OB が中小事業者を支援する活動拠点です。

貴重な経験やノウハウを有する企業 OB を同センターアドバイザーとして登録し、製造業をはじめとする中小事業者へ派遣しています。アドバイザーが培ってきたスキルを生かし、事業者が希望するさまざまな支援を行うことにより、市内の産業の活性化を図っています。

また、市内の小・中学生に向けて、科学の面白さと、ものづくりの魅力を伝える講座も開催しています。

企業 OB 人材センター
時 9:00 ~ 17:00 所 地場産業振興センター(じばさん)3階
TEL: 350-5300 FAX: 350-5303



健康診断を受けて、知ってほしい。

体からの小さなSOS

健康診断の結果を、どこまで見ていますか。

体重、腹囲など気になるところだけ確認して、後は気にせず放置していませんか。健康診断の結果には、重大な病気に気付くきっかけがたくさんあります。



糖尿病は知らないうちに血管を傷つけます

糖尿病は、血液中のブドウ糖が常に多くなる病気で、慢性の高血糖状態と言えます。放置すると、全身の血管が傷付けられ、目がかすんだり、しびれが出たり、腎臓が悪くなったりします。末期には失明や、透析治療が必要になることもあります。初期の自覚症状がほとんどなく、症状が出たときには糖尿病が進行してしまっていることが多いので、大切なのは症状が出る前に糖尿病と気付くことです。

糖尿病の合併症

細い血管に起こる合併症

- ・手足のしびれや痛み
- ・便秘や下痢が起きやすい
- ・網膜症
(進行すると失明)
- ・尿たんぱくが出る

- ① 神経の症状
- ② 眼の症状
- ③ 腎臓の症状

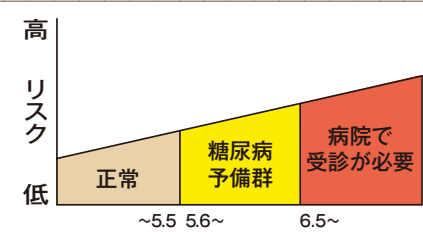
太い血管に起こる合併症

- ・足の壊疽
- ・歩くとき足が痛み、長時間歩けない
- ・脳卒中
- ・認知症
- ・心筋梗塞
- ・狭心症



ヘモグロビンエーワンシー

HbA1cの値で分かる糖尿病のリスク



HbA1cは、過去1~2カ月の血糖の状態を示すもので、糖尿病と密接な関係があります。

多くの健康診断で、血糖値の評価として「HbA1c」を測定しています。自分の値を把握することで、悪化の傾向が出てもすぐに対応することができます。定期的に健康診断を受けて、血糖値の変化を意識しましょう。

糖尿病性腎症重症化予防事業

四日市市国民健康保険では、地域の医療機関と連携して、糖尿病性腎症の重症化を予防する取り組みを行っています。対象者には6月下旬に案内通知を送付しましたので、通知一式を持って医療機関にご相談ください。

- ☒ 過去の市国民健康保険特定健康診査や受診の結果、糖尿病の可能性が高い人。また、現在糖尿病の治療中で、保健指導が必要と思われる人
- ☑ 医療機関受診の案内または保健指導の利用案内



●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 保険年金課 ☎ 354-8158 FAX 359-0288

こどもの意見が 尊重されるまちへ



本市では、こどもたちの声を生かしたさまざまな事業や活動を進めるため、令和7年3月に「四日市市こども計画」を策定しました。この計画に基づいて、「こどもの権利が尊重され、こども自身の意見や視点が活かされたこども施策」を実行します。

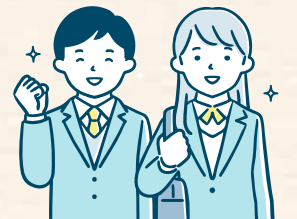
こどもの権利とは？

すべての人は生まれながらにして「自分らしく生きる権利」があり、こどもも、大人と同じ一人の人間としての権利を持っています。

1989年に国連総会で採択された「子どもの権利条約」では、こどもの権利を守るため、「差別の禁止」、「こどもの最善の利益」、「生命、生存および発達に対する権利」、「こどもの意見の尊重」の四つの原則を定めています。そのうち「こどもの意見の尊重」に関する本市の取り組みを紹介します。

「こどもの意見の尊重」

こどもは自由に意見を表すことができ、大人はその意見をこどもの発達に応じて十分に考慮します。



子ども人権フォーラム



本市では、市内の中学校区ごとに、代表学年の小・中学生が集まり、身近な人権問題について自らの思いや考えを話し合う「子ども人権フォーラム」を実施しています。

地域の人が参観している校区もあり、こどもたちの意見が地域に届く貴重な機会となっています。また、全校集会や校内掲示・放送などで、活動を通じて得た学びや気づきを共有する取り組みも行われています。

人権フォーラムを通して、世界がとて広くなったように感じました。私にはなかった意見なども出て面白かったです。

参加した小学6年生



自分たちにできることは、声をあげていくことだと思います。最初は一人二人でも、だんだん人数を増やしていけば、おかしいと思うことを変えられると思います。そのために、まずは自分から声をあげていきたいです。

参加した中学1年生



じんけんフェスタ2025

すべての人の人権が尊重される社会の実現に向け、広く人権を考える機会として開催しています。人権に関する映画の上映や展示、人形劇やこども体験コーナーなどさまざまな催しを行います

時 12月7日(日) 9:00~16:30

所 勤労者・市民交流センター本館・東館

詳しくは、市ホームページを参照▶



人権週間記念映画

「父と僕の終わらない歌」

時 ①10:00から
②13:30から
定 各300人
(当日、先着順)

いずれも
30分前に
開場



©2025「父と僕の終わらない歌」製作委員会

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 人権・同和教育課 ☎ 354-8253 FAX 354-8308
人権センター ☎ 354-8609 FAX 354-8611 人権・同和政策課 ☎ 354-8293 FAX 354-8611

四日市地区薬物乱用防止指導員

薬剤師 青木一徳さん



10・11月は「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」期間です。青木一徳さんは、薬剤師として働く傍ら「薬物乱用防止指導員」として、小・中学校での薬物乱用防止教室などを通じて医薬品の正しい使い方や薬物依存の怖さを伝えています。また、薬の専門家として、調剤業務や健康相談を通じて地域住民の健康もサポートしています。

学校の環境衛生や子どもたちの健康を守る

年に10回以上、学校薬剤師として、学校環境衛生に関わる検査や助言、保健管理を行い、子どもたちの安全で快適な学校生活を、薬学的な立場から支えています。

具体的には、教室の空気環境、教室の明るさ、飲料水やプールの水質などの検査をします。最近では、将来の健康管理に役立ててもらうために、中学3年生の希望者を対象に学校検尿を用



薬の調合をする青木さん



小学校での「薬物乱用防止教室」



関係機関と連携した「薬物乱用防止セミナー」

いたピロリ菌の検査も実施しています。

若者の心に寄り添う教育

ここ数年、風邪薬やせき止めなどの市販薬を本来の用途から外れて一度に大量に服用する行為「オーバードーズ」が、一部の若者の間で広まり、社会問題となっています。たとえ市販薬であっても、用法・用量を守らずに服用すれば依存症や健康被害を引き起こします。市内の繁華街でも、薬の空き箱が大量に捨ててあるなどの形跡が見つかっており、身近にも起っている問題です。

問題の背景には、コロナ禍などをきっかけにコミュニケーション不足が進み、孤独感やつらい気持ちを抱える若者が悩みを打ち明けられず、不安やストレスから逃れたい思いで薬に頼ってしまうことが考えられます。

近年は薬物乱用の怖さだけを伝えるのではなく、悩みを抱える若者に寄り添う教育が必要とされています。薬物乱用防止教室などを通じて、薬物に手を出してしまう前に、自らが抱える悩みなどを打ち明け、相談できる環境を作ることの大切さを訴えています。

誰もが気軽に立ち寄れる薬局を目指して

薬の専門家として、患者はもちろん地域の皆さんの話に耳を傾け、関係機関と連携し、必要な支援につなげることに重きを置いています。また、積極的に薬物乱用防止セミナーなどに参加し、日々研さんを積んでいます。私たちは「誰もが気軽に立ち寄れる薬局」を目指し、地域の皆さんの役に立つことができると考えています。

11月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪！」でも紹介します。

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です
人権のひろば

☎ 人権・同和政策課
 (TEL) 354-8156 (FAX) 354-8611)

**「12月4～10日は人権週間
 —より良い未来へ—」**

世界人権宣言を知っていますか。令和6年度四日市市民人権意識調査では、世界人権宣言を約4人に3人がよく知らないと回答しています。

世界人権宣言は、基本的人権の尊重を初めて国際的に示した大切な宣言です。第二次世界大戦の経験から、平和と人権の尊重が求められるようになり、1948年に国連総会で採択されました。この宣言をもとに、国際人権規約や個別の人権条約が制定され、人権を守るための基盤が整えられました。

日本では、世界人権宣言が採択された12



令和6年度
人権週間ポスター

月10日を最終日とする12月4日からの1週間を人権週間と定め、全国的に啓発活動が実施されます。本市でも「じんけんフェスタ」(詳しくは、本号P9を参照)を開催し、人権に関する映画の上映のほか、市内の各小・中学校や保育園・幼稚園・こども園による作品展示、人権擁護委員による人権相談などを行います。

人権週間をきっかけに、人権に関するさまざまな催しに触れながら、より良い未来のために、あなたの身の回りの人権や、誰もが尊重される社会について考えてみませんか。



本市の魅力为全国へ

昨年度の本市のふるさと納税事業で、寄附件数の多かった上位5社の返礼品提供事業者へ、事業への協力に感謝の意を表すため、感謝状を贈呈しました。

本市では、ふるさと納税による市税の流出が、寄附受け入れ額よりもはるかに多く、令和5年度から専門部署を設けるなど対策を進め、直近3年間で、寄附受け入れ額を約8.7倍に増加させるとともに、市税の流出との収支差(赤字額)を43%減少させました。

この結果は、これまでの取り組みはもとより、ひとえに、本市の魅力や特色を伝える返



礼品を提供いただく事業者の協力なくしては、なしえない成果です。

今回感謝の意を表した5社が取り扱う返礼品は、ごま油、お酒、半導体、牛肉、萬古焼と、いずれも本市の水と緑が育む逸品ばかりで、非常にバラエティに富むのが特徴です。返礼品は、本市の多様な魅力为全国へ発信する広報大使と言えます。今回の5社をはじめとして、ほかにもご協力いただいている多くの皆さんに、改めてこの場を借りてお礼を申し上げます。

そらんぽへ行こう

☎ 四日市公害と環境未来館 (TEL) 354-8065 (FAX) 329-5792

「四日市市環境フェア」で楽しく学ぼう！

四日市公害と環境未来館は、12月13日(土)にじばさんで「四日市市環境フェア」を開催します。

このイベントは、環境活動団体などが協働した展示やワークショップなどを通して、公害や環境について考え、学んでもらうことを目的としています。今回は、自然の材料を使った工作体験や、環境を守る取り組みの展示以外に、食品ロス削減の取り組み「フードドライブ」も開催します。

フードドライブとは、自宅や事業所で眠っ



昨年開催の「四日市市環境フェア」の展示ブース

ている食材を持ち寄り、その食品を必要とする支援団体などに寄付する活動です。集める食品などは下記二次元コードを参照ください。

また、三泗地区の小・中学生による「公害・環境に関する研究作品展」の表彰式・研究発表会などを同時開催します。

本市の環境の取り組みについて楽しく学び、身の回りの環境問題などを改めて考える、行動するきっかけにしていきたいでしょうか。



市ホームページ

文化財さんぽ

☎ 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873

国の特別天然記念物 ニホンカモシカ

市の西側に広がる鈴鹿山脈は、三重県内で「カモシカ保護地域」に指定されており、水沢地区の山間部にはニホンカモシカが生息していると考えられています。

ニホンカモシカは、日本だけに生息する貴重な動物で、オス・メスともに短い2本の角が生えています。山の岩場や森の急斜面などで暮らし、常緑広葉樹の葉や樹皮などを好んで食べ、同じ場所に排泄する「ため糞」や、木に角をこすりつけ表面の皮膚をはがす「角



ニホンカモシカ

と研ぎ」の習性があります。名前から「シカ」の仲間と思われがちですが「ウシ科」に属しています。

近年、鈴鹿山脈ではニホンカモシカの目撃情報が極端に少なくなりました。原因の一つとして、餌となる好みの植物の減少が考えられます。

ニホンカモシカは皆で守らなければならない特別な存在です。もし山間部で見かけたら、静かに見守ってあげてください。



矯正 歯科

桑はらだ 歯科クリニック

桑名市新西方7-22
イオンタウン桑名新西方内

ホームページはこちら

こんな人はぜひ一度ご相談ください!!

※自由診療です。※症状によって料金が異なります。 大人の矯正 約19万8千円～50万円程度 子どもの矯正 約5万円～35万円程度

上顎前突
 下顎前突
 正中離開
 空隙歯列
 開咬
 過蓋咬合
 歯周病
 交叉咬合

0594-27-5454

診療日	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~13:30	●	●	×	●	×	×	×	×
15:00~18:00	●	●	×	●	★	●	×	×

水・祝・日曜休診 ★14:30~18:00

庭木1本から承ります!

早く! お得に! きれいに!

お客様との
お約束

庭木1本より明瞭料金
トイレはお借りしません
土日でもOKです
お茶はご遠慮します

庭木のプロフェッショナル
がお伺いします!

ガーデンエクスプレス

カタクラ(東証スタンダード上場会社)グループ

生垣の剪定

長さ1m 高さ2m
通常 2,200円を ※税込
初回限定 先着10名様 1,100円

営業時間 9:00~17:00

0120-61-4128

四日市店 四日市市西浦1-1

3歳になったら鈴鹿サーキットパークへ!

3歳バースデー・デビューインビテーション
3歳のお誕生日から1か月間。

パークバスポートの料金
ご本人無料 + 同伴のご家族
4人まで半額

※事前申込が必要 ※レース開催日・特定日を除く ※翌月の同日まで。翌月に同日が存在しない場合は、その翌日(1日)まで
※料金は変動制のため、来場日の料金をご確認ください。

SUZUKA CIRCUIT PARK

三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL.059-378-1111

※内容は予告なく変更される場合がございます。

詳しくはこちら

建設職人なら誰でも入れる組合です

けんろう 建労

随時加入者
募集中

四日市支部

三建国保

組合独自の
建設労働者の
健康保険

出産育児一時金(50万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

建労四日市支部の
ホームページを開設しました

下記URL
またはQR
コードから
ご覧いただ
けます。

<https://www.kenro-yokkaichi.jp/>

三重県建設労働組合四日市支部

四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

創業1848年 永年の信用と豊富な実績

株式会社 光倫会館

四日市市営式場協力店(規格葬儀)

24時間365日受付 年中無休で承ります

事前相談

0120-114248

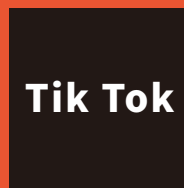
四日市光倫会館 富田光倫会館
光倫会館 桜ホール 津光倫会館

[本社]四日市市松本北大谷2015(北大谷斎場口)

チャンネル登録・フォロー
よろしくお願いします！

毎週動画 始めました

毎週水曜日配信中



現役高校生からの**ガチ**質問に森市長は**30**秒で答えられるか!?

教えて！市長

11月5日配信



11月12日配信



11月19日配信



11月26日配信



12月以降も毎週配信予定！

編集後記

特集に関するこぼれ話



今月号は、食に関するものづくり企業を特集しました。

取材では、エクストルーダーなどさまざまな機械やその製造工程を見せていただきました。見ただけでは用途が分からないものもありましたが、実は身近な食品の加工に欠かせない機械ばかりで、改めて本市の製造業のすごさを実感しました。今回は食をテーマにしましたが、いつか食以外の分野も取材をしてみたいと思いました。

紙面で紹介できなかったものも多くありますので、興味を持った企業のホームページなどもぜひご覧ください。(加代)

広報よっかいち11月上旬号 No.1680 (令和7年11月5日発行)

編集・発行／四日市市広報マーケティング課

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号 ☎059-354-8104 (総合案内) 印刷／水九印刷株式会社

UD FONT
by MORISAWA